

10 クコの実とローヤルゼリーを主成分とした植物発酵食品「精氣源」の臨床的考察。

◇伊藤実喜（医療法人三喜会・伊藤医院）

◆豊福政子（伯天本舗株式会社代表）

【目的】生活習慣病として、活性酸素が大きくクローズアップされています。今回抗酸化作用（活性酸素除去作用）を有する「枸杞、桂皮、甘草」を主原料とする自然草にイチョウ葉エキス、100%天然のローヤルゼリーを加え発酵させ、アミノ酸、ビタミン、ミネラルを含んだゼリー状発酵食品（精氣源）を癌、糖尿病、高血圧、高脂血症等に併用し臨床的考察を行った。

【方法】1 pack 5g を疾病により 15g～20g/日併用した。期間は6ヵ月使用した。原則として医薬品の変更を行わないようにした。尚、調査はヘルシンキ宣言の主旨に従い、本人の了解を下に実施した。

【成績】症例1・73才男性、頻尿と腰痛で来院エコーにて前立腺肥大を認めた。治療にて改善せず血液検査にてPA30mg/ml、 γ -sm25mg/mlと上昇、前立腺癌の合併が考えられた。本人が手術拒否の為精氣源1回5gを1日4回(20g)服用した。3ヵ月後PA5.0mg/ml γ -sm3.0mg/ml。6ヵ月後PA1.0mg/ml、 γ -sm0.5mg/mlと正常値となり腰痛、頻尿も改善した。

症例2・27才女性、IDDM 五年前から1日40単位のインスリン治療を行っていたが、鬱、自閉的となり血糖500～600mg/dl、HbA1c15%とコントロール不良であった。本人がインスリンの増量を拒否精氣源を1日3回(15g)服用する事を承諾。3ヵ月後に血糖200～300mg/dl、HbA1c10%となった。

症例3・51才男性、脂肪肝、高脂血症、高血圧に精氣源1日3回(15g)使用した。6ヵ月後GOT170→50 GPT147→42 γ GTP153→41 Tcho780→232mg/dl TG380→252mg/dlと改善した。

【結論】精氣源は、スーパーオキシド消去活性100単位/g [電子スピン共鳴(ESR)法]を有しミネラル、ビタミンを含む強力な抗酸化剤であり、治療が困難であったり、拒否される症例に使用し有効であった。